エディテージの研究者向け
セミナー・ワークショップ

「アクセプトされる論文の書き方」
ワークショップのご案内

editage by CACTUS

Developing science through effective communication

「アクセプトされる論文の書き方」ワークショップ（4 時間）

年々競争が激しさを増すジャーナルへの論文投稿。論文受理率を上げるための論文の書き方を経験豊富なネイティブ講師が解説します。

「ターゲットのジャーナルに、なかなかアクセプトされない」。英語論文の執筆経験はあっても次のレベルにステップアップする方法でお悩みの研究者は少なくありません。

本ワークショップは、主として英語論文の執筆経験がある方を対象に、学術論文の標準的な構成形式である **IMRAD 形式の論文**について、執筆上の留意点を学んで頂くことを目的としています。自分の研究を正確かつわかりやすく読者（査読者）に伝える力を培うとともに、**アクセプトされ、検索され、引用される論文に必須な条件**を学びます。

進行の形式も、講師の話を一方的に聴くのではなく、**演習を通じて実際に手と頭を動かし**、講師や他の参加者と議論する真の意味でのワークショップです。質疑応答の時間もふんだんに取る予定です。

ご自身の英語論文を一段上のクオリティーに高めたい方、確実なアクセプトを望む方のご参加をお待ちしております。

ワークショップの内容と対象者

ワークショップの内容（2 時間）

- ✓ IMRAD 形式の論文とは
- ✓ 各セクションで書くべきこと、書いてはいけないこと
- ✓ 論文を執筆する際におかしがちな過ちと対処法
- ✓ 図表（Figures & Tables）作成の際の留意点
- ✓ 演習（Activity 2 つ）
  Structuring an introductio + How to craft an abstract (エンジニア向け)
  もしくは How to edit a table (臨床医学・社会科学グループ向け)
- ✓ 質疑応答

対象者

- ✓ 英語論文の執筆経験がある若手研究者
- ✓ 学生・後輩に指導する際の知識を得たい部門長、教授、准教授、主任研究員
- ✓ 学会英文誌の編集長・編集委員

費用

一時間当たり、30,000 円（税抜）
＊交通費は別途、申し受けます。

留意事項

※本ワークショップは英語で行われます。日本語でご質問頂いても結構です。講師も状況に応じ、日本語でお答えします。

※ワークショップ用登録フォームへのご登録をお願いしています。ご登録くださった受講者様は、講義中に使用するスライドを講義終了後にダウンロード出来る他、担当講師の西川マリが英語論文執筆にあたっての御質問にお答え致します。

※A4 用紙印刷の講義資料を使用します。（製本テキストは配布致しません）

講師紹介

西川マリ
(Nishikawa Mary)

エディテージ専属講師

米国にて高校の教師（化学）を務めた後、大手製薬会社にて研究者として AIDS 治療薬の研究に従事。同社日本法人へ移籍後は約 10 年間、社内のドキュメント・レビュー及び社内の英語トレーニングを担当。

その後、日本で長くメディカル・ライターとして活躍。現在はカクタス・コミュニケーションズ株式会社にて、研究者を対象としたセミナー・ワークショップの講師を担当。

ライティングのプロとして、特に医学・ライフサイエンス分野の専門知識に知悉し、明確で分かりやすい論文の執筆に定評がある。また、日本人の研究者・医師が誤りやすいクセやミスについても詳しい。日本語は日常会話レベル（日本語検定 2 級取得）。

連絡先

カクタス・コミュニケーションズ株式会社 s
担当　金子洋一
Email: kaneko@cactus.co.jp